

2011 ハワイ・ロングステイ（2）

第2話□我が家からハワイまで18時間...遠い?? 近い?? □

Aloha□ !!

7月18日 晴 ハワイへ出発する日、何時ものように5時に起床...体重を計ると66.0kg。2009年 子供たちから突然の提案があった。「2年後の2011年には、お父さん・お母さんは「古稀」を迎える...その記念に、ハワイ・ロングステイをしてみてもは? ...」と。

□えッ!! ...私たちだけで?...できるかな~??」一瞬、不安にかられたものです。

それから一月ほどが過ぎて...「まだまだ2年先のことだし、これから、しっかりと準備さえすれば大丈夫だよな ??...」と、この提案を前向きに受け入れることにしたのである。



□ そう決まると、子供達は早速、**ステイ先のコンドミニアムと航空券の手配**に力を貸してくれて、**出発の1年前には予約が完了**していた。 **私たちは、一つ一つの不安を解消しようと「チェックリスト」を作った。**それからというもの、晩酌のたびに話題は決まって「ロングステイ」の事ばかり...だが、纏まりのない、夢みtainな会話に明け暮れる毎日が続いた。せっかく作った「チェックリスト」には、対策が盛り込まれないまま、2年間は過ぎた...。「あッ!! ...もう準備をしなくちゃ、間に合わないよ~!!」と、我に返った時は、出発の半月ほど前になっていたと言うわけです。

出発の朝「...まあいいか!? ...」「偶者は経験に学ぶだ~!!」などと、訳の判らない諦めとひらきなおり。子供たちの前には、平生を装って「行ってきま~す!!」と、家を出た。...が、家内と二人きりになって始めて、抱えている不安の重さを実感していた。ドキドキしてくる...反面、ほんの少しのワクワク感と、実に複雑な心境



であった。

長崎空港に10:30に入り、直ぐに搭乗手続きを済ませる。航空会社のチェックイン・カウンターの女性が「気を付けて、行ってらっしゃ~い!!」と、私達の背中を押ししてくれた。私たちにとって今回の旅は、添乗員が率いるツアーとは違って、いわば「**初めての夫婦ひとり旅**」とでも言ってよいだろうか。なので不安だらけ...そんな中で、こうしたちょっとした言葉に勇気を貰う思いがした。今日は、ここ長崎空港から羽田へと飛び、そこから、深夜便の12:05発 ホノルル行きに乗り継ぐ予定となっ



ている。

□飛行機の搭乗待ちに重宝しているのが□**有料ラウンジ**」...長崎空港には、2階にビジネスラウンジ「アザレア」がある。こうしたラウンジでは、充電をしながらのpcの利用が可能で、言うまでもなくインターネットの接続環境は快適である。「**旅の四種の神器**□と、私なりに勝手にそう呼んでいる物がある。「パソコン・メモ帳 万年筆 デジカメ」の四種である。加齢とともに記憶力は低下...メモらなければ、昨日の出来事だって思い出せないことがあるから情けない。なので、この四つのグッズは、私の旅には無くてはならない重要な物なのである。こうしたメモや撮影データなどを纏めたりする...その作業エリアとしても最高なのが「有料ラウンジ」なのである。

15:40 羽田空港に着いた。国際線ターミナルが新しくなってから始めて訪れる...なので、今回はその観光を兼ねて、少し早めの羽田空港入りとしたのであった。明日からはハワイだ...まずは、しっかりと日本食を食べておきたい。そこで選んだレス

トランは寿司屋だった。



「美味しい !!

」...日本酒を注文して、ついつい晩酌の度が増していった。大満足の夕食も終わり、保安検査を受けて搭乗ロビー5階の有料ラウンジへと移る。夜10時を過ぎた頃から利用客が多くなり、11時頃にはほぼ満席状態となる。



ハワイへの出

発時刻が近づき機内へと案内された。予定時刻よりも遅れて 12:25 にテイクオフ。ほとんど眠られないままに、到着前の機内食が配られてくる。...が、飲み物だけを戴きながら、ハワイ到着後のことを頭の中でシュミレートする。



そうしている間に、ホノルル空港に着陸した。昨日の朝 5時に起床してから、ハワイ到着まで、なんと27時間が経過していた。今回は、羽田空港 新国際線ターミナルの観光を兼ねたために、こう長くなった。...なので、最短では18時間ほどであろうか。さて、「我家からハワイまで18時間...遠い ?? 近い ?? 」皆さんは、どう、お感じになられるでしょうか ?



2011年の暮れからは、福岡空港発着のハワイ直行便が就航するとのことだ。だとすれば、九州人の私たちには朗報で「我家からハワイまで12時間」ほどと、さらに



ぐっと近くなりそうだ。□2度目のハワイのハワイ・少しずつ記憶が蘇ってくる空港の風景...だが、私たちを迎えてくれる人は誰もいない...始めて経験する「夫婦ひとり旅」を実感した瞬間だった。

今日からステイするコンドミニアムを管理しているのは、不動産会社である。部屋の鍵を受け取るのと同時に、引き渡しの打ち合わせをしなくてはならないので、担当者へ電話を入れた。予約のコンドミニアムが入っているタワーで落ち合うことに



決まったのでタクシーを走らせた。

「やれやれ、これでステイ先のコンドに入れる」...と、思っていたところ、私たちがステイするタワーのフロントへの入口には、セキュリティーがかかっている。また、不動産会社の担当者も来ていないではないか。そうこうしている内に、警備の係員が私たちに気付いて近づいて来た。私の倍くらいはあろうかという体格の黒人の男性に、恐る恐るカタコトの英語で、コンドを予約している者であることを伝える。するとタワー内のロビーに案内してくれて、ここで暫く待つようにと言われた。

またひとつ、大きな安堵のため息をついた。それからかなりの時間が経過して、担当者が現れたのは午後三時近くだったろうか。これも「**ハワイ時間か?**」と妙に理解が早かった。



そうしてやっと、コンドミニアムの部屋へと案内して貰ったのである。キッチンのことに取り

洗濯機 ゴミの処理法についてまで、おおよそ小一時間の打ち合わせをして部屋の引き渡しが終わった。時間はもう午後4時になろうとしていた。

重いスーツケースから解放されて、ホッとするのも束の間...夕餉の食材探しをしなければならなかった。日本食があると聞いていたので、アラモアナ・ショッピングセンターの白木屋に行くことにした...が、そこへ行くにもタクシーは呼べないし、バスはどこから乗ればいいのかさっぱりわからない。



仕方が無いので、地図をたよりに歩くことにした。

初めてのところは遠く、そして不安を感じたものである。目指す売り場に着いた。「まァ !! なんと...」日本の惣菜を始め、食材の多さに驚いた。だけど、もう一つ大切な物「ビールにお酒がない!!...」フロアーガイドが教えてくれた1階の「フードランド・スーパーマーケット」に行くと、お酒は「日本酒」まで並んでいた。嬉しくなっつついつい買い込んだものだから、重くて重くて...とても歩いては帰れない。ところが「渡りに船」マーケットの前はタクシースタンドだった。...ためらうことなく乗り込んでコンドに急ぎ帰った。こうして、ハワイ初日の夕餉の食材は揃った。買い求めてきた惣菜を開いて、ホッと安堵の夕餉の食卓が始まった。味はともかくとして...ハワイに着いたばかりというのに「寿司」に「にぎり」に「刺身」に「日本酒」とは...どうしたものか??...だが、長い旅から解放された嬉しいひとときであっ



た。

夕餉が終わった pm7:00 頃、ふと窓の外に目をやると、およそ180°の視界で「100万\$の夜景」がパノラマとなっていて実に綺麗!! ...また、部屋のエアコンはOFFにしていると言うのに、暑くもなければ、寒くもない。「う~ん!! やっぱしハワイは素晴らし~い!!」

そう実感あった次の瞬間...二人とも、もの凄い睡魔に襲われ、やっとの思いで歯磨きだけを済ませ、ベッドにバタンQ...□こうして、ハワイに着いて、長~い一日が終わったのでした。

振り返ってみると昨日、日本の我が家で目を覚ましたのが朝の5時だったから、



それから何と、33時間が経過していた

ことになる。

□こうして、いよいよ始まったハワイ・ロングステイ...できることならば「まるで住んでいるかのようにステイしたい」□...そう思って Hawaii 入りをしているのです

が...最初から、うまくゆく筈はありませんよね??

次の「第3話」でまた...お逢いしましょう!!

□Mahalo□!!